

高知家の健康だより

令和5年10月31日発行

① インフルエンザの流行期に入っています。

県内では、すでに流行期に入り、現在も報告数は**増加傾向**にあります。

第42週(10月16日～10月22日)のインフルエンザ定点医療機関における迅速診断ではインフルエンザA型が584件、インフルエンザB型が4件となっています。

インフルエンザは例年1月～2月頃にピークとなる疾患ですが、すでに県全域で注意報値を超えています。

学校等では集団発生による休校、学年閉鎖、学級閉鎖が多数報告されているので注意してください。

基本的な予防対策

◎感染経路を断つことが大切

- ・人が多く集まる場所から帰ってきたときは手洗いを心がけましょう。
- ・アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果的です。
- ・普段からの健康管理も重要です。
栄養と睡眠を十分にとり、抵抗力を高めておくこともインフルエンザの発症を防ぐ効果があります。

◎予防接種も大切

- ・予防接種は発症する可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。

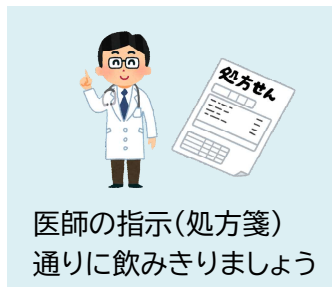
② 11月は薬剤耐性(AMR)対策推進月間です。

〈薬剤耐性とは…〉

抗菌薬を使うことで病原体が変化し、特定の種類の抗菌薬・抗生物質が効かなくなる、効きにくくなることです。

抗菌薬は細菌に効く薬なので、ウイルスが原因となる感染症には効果がなく、早く治ることもありません。

抗菌薬は正しく飲むことが大切です！(薬剤耐性の予防策)



(参考：高知県感染症発生動向調査(週報)42週、厚生労働省、AMR臨床リファレンスセンター)

ジェネリック医薬品使用割合(出典：「最近の調剤医療費の動向」R5.5月時点)
数量ベース(新指標) 高知県 81.3%(全国 45位) 全国 84.5%

